

史料紹介

豊橋藩『時習館文庫書目』・尾張藩『明倫堂献納書』

Historical documents

*Toyohashi-han: List of Jishukan documents, Owari-han: Documents donated to Meirindo*岸野 俊彦 *Toshiniko Kishino* (音楽学部教養部会)

解題

本稿では、愛知県公文書館所蔵の『時習館文庫書目 元豊橋藩』と、蓬左文庫所蔵の『明倫堂献納書』を翻刻紹介する。「時習館」は、三河吉田藩（豊橋藩）、「明倫堂」は尾張藩（名古屋藩）の藩校である。明倫堂の蔵書を記録したものは、蓬左文庫蔵の『明倫堂御文庫御書目』があるが、大部なものである。藩士や商人などによって献納された『明倫堂献納書』に限って紹介する。

一、『時習館文庫書目 元豊橋藩』

豊橋藩というのは、三河吉田藩が明治二（一八六九）年六月十九日に名称変更してきた七万石の藩である。六月十七日に版籍奉還が行われ、藩主の松平（大河内）信古は吉田藩知藩事となるが、伊豫吉田藩との類似を厭い豊橋藩と改称した。明治四年七月十四日の廃藩置県の結果、豊橋藩は豊橋県となる。また豊橋県は四ヶ月後の十一月十五日に、三河の諸県を統合した額田県となり廃止される。

額田県は、翌年の十一月十七日に名古屋県と合併し、愛知県となる。本史料が、愛知県公文書館に所蔵され、「元豊橋県」と記されているので、明治四年の豊橋県時代に作成され、額田県を経て愛知県に移管されたものと思われる。

三河吉田藩に藩校時習館が創設されたのは、宝暦二（一七五二）年七月、藩主は松平信復の時代である。明治維新後の明治元（一八六八）年十月に、藩主信古の命令で時習館に漢学寮（漢学校）が新設される。その後、明治三年八月には、皇学寮（皇学校）が開始される。本史料を見ると最初に「皇学校」と記され、「国典之部」として「日本書紀」以下の五十七種七百二十三冊が列記されている。次に、「漢学校」と記され、「国典の部」として「和漢年契」以下の蔵書名と冊数が列記され、「図画之部」として「日本輿地便覧」、「漢籍之部」として「頭書玉篇」以下の蔵書と冊数が記されている。漢学校は合わせ五十六種八百九十四冊である。時習館全体としては、百十三種、千六百十七冊の蔵書である。

「豊橋藩皇学校開校次第」と「学則」をみると、「皇学校」は、明

治三年一月の「大教宣布の詔」に始まる政府の「大教」布教活動に対応して八月に設立されたものである。天皇が世界の中心であることを弁え、他国の学問は「皇道の羽翼」とするものである。「皇学校」の下に「漢学校」が置かれ、蔵書目録の記載もそのような順序になっている。前記「皇学校開校次第」には、「講義書」「会読・臨読」「句読」に分けて使用書が記載されている。「蔵書目」との関連を見ることができ、以下に紹介する。

○「講義書」古事記、日本紀、古語拾遺、万葉集、童蒙入学門、稽古要略、古道訓蒙頌、神徳略述頌、皇道要略、国学入門、玉銚百首、明倫歌集

○「会読・臨読」六国史、令義解、法曹至要鈔、三代格、神皇正統記、保元大紀、公事根元、土佐日記、万葉集、菅家万葉集、明倫歌集、大日本史、史徴、皇朝史略、国史略、古事記伝、古史成文、古史徴、古史伝、玉匣、直日霊、初山踏、入学問答、玉櫛、霊真柱、大道或問、日本外史

○「句読」祝詞、宣命、古事記、神代記、古語拾遺、懐風藻、皇典文彙、文粹、管家文章、同遺戒、古史成文、神代正語、史鈔百伝、童蒙入文学、古学二千字、神徳略述鈔、古道訓蒙頌、稽古要略、皇朝三字経、皇道要略、国学入門

二、『明倫堂献納書』

尾張藩校明倫堂の本格的な成立は、天明三（一七八三）年、九代藩主徳川宗睦の時代である。明倫堂の文庫の成立の詳細は不明であるが、嘉永六（一八五三）年に明倫堂典籍になった細野要斎の「敬事録」によれば、書物はいろは順に整理されていた。管理は典籍が

行い、貸出も行っていた。明倫堂の書物は、購入の他に明倫堂教官等藩内、名古屋城下町人、他国藩士等からの献納によるものも多かった。これらの詳細については、拙稿「尾張藩校明倫堂の文庫運営と他藩士交流」（『名古屋芸術大学研究紀要』第三十六巻）で明らかにしている。本史料は、幕末の頃と思われる「献納書」の記録である。二百六十二種、総計一万六千六百六十一冊が書き上げられている。献納書のみでも時習館蔵書を大きく上回っており、七万石の豊橋藩校時習館と六十二万石の尾張藩校明倫堂の蔵書の規模の違をみることが出来る。

史料

一、『時習館文庫書目 元豊橋県』

皇学校

国典之部

- 一 日本書紀 十五冊
- 一 続日本紀 二十冊
- 一 日本後記 十冊
- 一 続日本後紀 二十冊
- 一 文徳実録 五冊
- 一 三代実録 二十冊
- 一 百鍊抄 十四冊
- 一 古訓古事記 三冊
- 一 訂正古語拾遺 壹冊
- 一 祝詞正訓 壹冊

一	菅家遺誡	三冊	一	志都乃石室	貳冊
一	古史成文	三冊	一	出定笑語	三冊
一	皇典文集	十五冊	一	哀儀略	壹冊
一	東鑑	廿五冊	一	葬事略記	壹冊
一	国史紀事本末	十冊	一	新明題和歌集	十冊
一	玉くしけ	壹冊	一	増補和歌題林集	廿二冊
一	直日霊	壹冊	一	現存歌選	二冊
一	国学入門	壹冊	一	三題調類題	六冊
一	童蒙入学門	四冊	一	八代集抄	五十冊
一	入学問答	壹冊	一	言葉の玉の緒	七冊
一	稽古要略	四冊	一	新題林和歌集	十六冊
一	神徳略述頌	三冊	一	類題和歌集	三十一冊
一	古道訓蒙頌	三冊	一	新撰廣狹神供集	壹冊
一	古史略	壹冊	一	名所今和歌集	四冊
一	古学二十文	貳冊	一	竹取物語	貳冊
一	経義大意	壹冊	一	百人一首鈔	三冊
一	荷田大人啓	壹冊	一	徒然草諸抄大成	十冊
一	宇比山踏	壹冊	一	後撰集新抄	八冊
一	玉銚百首	四冊	一	日本後記 写本	二十冊
一	大道或問	壹冊	一	本朝通鑑 写本	三百五冊
一	古道大意	四冊	一	古今余材集 写本	十五冊
一	鬼神新論	壹冊	一	古今栄雅抄 写本	十冊
一	玉櫛	九冊			
一	俗神道大意	四冊			
一	気吹臈	貳冊			
			漢学校		
			国典之部		

一	和漢年契	壹冊	一	四書	四冊
一	同	壹冊	一	同	四冊
一	本朝通紀	二十冊	一	同	四冊
一	外史	二十二冊	一	同	四冊
一	同	二十二冊	一	同	四冊
一	同	二十二冊	一	同	四冊
一	外史補	九冊	一	四書集註	十冊
一	責而者草	十二冊	一	四書大全	二十二冊
一	明良港範	四十冊	一	五經	十一冊
一	制度通	十六冊	一	同	十冊
一	名物六帖	十六冊	一	同	九冊
一	農業全書	十一冊	一	同	九冊
一	白娛集	二冊	一	同	八冊
一	嚶鳴館遺草	六冊	一	詩經集註	六冊
一	君臣雜話	六冊	一	書經集註	六冊
一	凶画之部		一	春秋左氏伝	十五冊
一	日本輿地便覽	二帖	一	林註左氏伝	二十冊
一	漢籍之部		一	左氏伝補正	三冊
一	頭書玉篇	十二冊	一	大戴礼	二冊
一	康熙字典	四十一冊	一	資治通鑑	百四十八冊
一	同	四十冊	一	前漢書	三十三冊
一	本草綱目	三十八冊	一	後漢書	二十五冊
一	孝経	壹冊	一	三国志	四十冊
一	同	壹冊	一	晋書	五十三冊
一	同	壹冊	一	五代史	十五冊
一	同	壹冊	一	歴史総鑑補	二十冊

	一	元明史略				四冊	左氏伝		十五冊
	一	戦国策				十五冊	左氏伝		十五冊
	一	劉向新書				二冊	左氏伝		十五冊
	一	貞觀政要				十冊	左氏伝		十五冊
	一	名臣言行録				六冊	左氏伝		十五冊
	一	同別集				八冊	左氏伝		十五冊
	一	同外集				五冊	左氏伝		十五冊
	一	同統集				二冊	左氏伝		十五冊
	一	世説箋本				十冊	左氏伝		十五冊
	一	蒙求校本				三冊	左氏伝		十五冊
	一	近思録				六冊	国語		十五冊
	一	伝習録				壹冊	国語		十五冊
	一	同附録				壹冊	国語		十五冊
	一	古今事文類集				壹冊	国語		十五冊
	一	韓文起				十冊	国語		十五冊
	一	聖武記採要				三冊	国語		十五冊
	一	千慮策				三冊	国語		十五冊
	一	劉向列仙伝				壹冊	国語	十部	各五冊
	一	歴代詩学精選				十冊	史記		二十五冊
	一	唐詩金粉				六冊	史記		十冊
	二、『明倫堂献納書』								
	明倫堂献納書						史記		二十五冊
	左氏伝						史記		二十五冊
	左氏伝						史記		二十五冊
	左氏伝						史記		二十五冊
	左氏伝						史記		二十五冊
	左氏伝						史記		二十五冊

五經集注	五十七冊	武備志	百冊
康熙字典	四十一冊	論語古訓	三部 各五冊
康熙字典	四十一冊	論語古訓	四冊
康熙字典	四十一冊	字彙	二部 各十四冊
康熙字典	四十一冊	字彙	十五冊
韓詩外伝	五冊	論語古訓	五冊
韓詩外伝	五冊	論語古訓	五冊
孔子家語	五冊	淮南子	五冊
孔子家語	五冊	塩鉄論	六冊
孔子家語	五冊	呂氏春秋	十冊
孔子家語	五冊	戰国策	十五冊
日本書紀	十五冊	歴史綱鑑補	二十五冊
日本書紀	十冊	唐書	八十二冊
日本書紀	三十冊	酉陽雜俎	十冊
続日本後紀	二十冊	輟耕録	十冊
続日本後紀	二十冊	左氏註疏	二十冊
家語	五冊	唐宋十大家文集	百冊
家語	各五冊	朱子語類	五十一冊
家語	各部	事文類聚	七十五冊
四書	十冊	尚書注疏	十冊
四書	十冊	五車韻瑞	二十五冊
五經	十一冊	五經大全	八十一冊
五經	十一冊	資治通鑑	百六十冊
武備志	百冊	五經古註	二部 各四十六冊
		通志略	三十一冊

漢魏叢書	八十冊	趙注孟子	三部	各四冊
文章軌範	四冊	易經古注	三部	各五冊
三才圖會	九十一冊	書經古注	三部	各六冊
九經補註	四十八冊	詩經古注	三部	各五冊
路史	十五冊	礼記古注	三部	各十冊
春秋正伝	二十冊	正字通		四十冊
皇朝通紀	二十五冊	歷代綱鑑彙編		七十三
千百年眼	十二冊	源氏湖月抄		六十冊
歴史綱鑑補	二十冊	二十一代集		二十一冊
明律	九冊	文体明弁		四十一冊
博古図	十六冊	吾学編		十二冊
爾雅註疏	五冊	韻会小補		二十二冊
孝經	壹冊	延喜式		五十冊
五雜俎	八冊	古今事類全書		三十冊
列女伝	十一冊	献徵録		百四十冊
四家雋	十二冊	四書集注	五部	各十冊
苑文正公集	十二冊	春秋左氏匯参		十六冊
太平広記	六十四冊	論語徵集覽		二十冊
左氏注疏	二十冊	昭明文選		十二冊
林注左伝	二十五冊	芸文類聚		二十冊
晏子春秋	五冊	貞觀政要		十冊
瑯邪代醉編	二十二冊	儀礼経伝通解		十七冊
卓氏藻林	八冊	令義解		十冊
世説新語補	十冊	大清会典		八十冊
山堂肆考	百冊	旧事記本記		十五冊

經典釈文	十六冊	八編類纂	百冊
論語古訓外伝	十冊	津逮秘書	百六十冊
論語徵集覽	二十冊	晋書	五十三冊
尚書注疏	十冊	四声字彙	各部
詩經古注	五冊	鳩巢文集	三十一冊
参考保元物語	十五冊	篆字彙	十四冊
参考太平記	四十五冊	金石韻府	六冊
万葉集	二十冊	古篆彙選	五冊
伝家宝	四十冊	管子全書	十三冊
遵生八牋	二十冊	鄭樵通志	二百冊
徂徠文集	二十冊	百三名家	百冊
春台文集	十二冊	唐宋白孔六帖	五十冊
南郭文集	二十四冊	十三經注疏	百六十冊
周南文集	六冊	通雅	二十四冊
玉山遺稿	六冊	墨帖千字文	折本二冊
蘭亭詩集	六冊	明史概	四十二冊
三礼古注	二十六冊	唐詩歸	七冊
韓文	四十冊	古詩歸	八冊
柳文	三十六冊	秦漢文抄	六冊
文徳実録	十冊	七経孟子	三十二冊
三代実録	三十冊	羅山文集	六十冊
本朝通紀	三十冊	古学文集	四冊
楽善堂集賦	四冊	天中記	四十八冊
唐宋詩醇	三十二冊	唐詩解	十二冊
合類大節用集	十三冊	墨池編	八冊

杜詩集注	二十四冊	古事譚	二十二冊
中山伝信録	六冊	古今著聞集	二十冊
賈誼新書	五冊	今昔物語	五冊
本草綱目	四十五冊	曆算全書	二十四冊
大和本草綱目	二十冊	周易古注	五冊
公羊伝	七冊	天台治略	六冊
穀梁伝	七冊	氏族排韻	八冊
王充論衡	八冊	前太平記	二十冊
宋学士全集	三十二冊	後太平記	二十二冊
増統韻府	三十八冊	北条九代記	十八冊
磨光韻鏡	二冊	保元平治物語	六冊
韻鏡遮中抄	二冊	中国太平記	十冊
唐詩品彙	三十二冊	太平記	二十一冊
周官精義	八冊	鎌倉三代軍記	四冊
三鏡	二十二冊	源平盛衰記	二十五冊
枕草紙	十三冊	通俗三国志	五十一冊
徒然草	十冊	通俗吳越軍談	十八冊
伊勢物語	二冊	通俗武王軍談	二十冊
和論語	十冊	通俗戦国策	十八冊
歴代史纂	八十五冊	両漢紀事	二十冊
廣大和本草	十二冊	古今詩刪	六冊
十訓抄	十冊	武用弁略	八冊
職人尺歌合	三冊	单騎要略	五冊
宇治拾遺	十五冊	名物六帖	十六冊
狭衣 下紐共	十六冊	謡曲拾葉抄	二十冊

知不足齋叢書	六十四冊	本朝三國志	三十六冊
鶴台集	五冊	本朝武家評林	五十一冊
白氏文集	二十冊	曾我物語	六冊
鷺峰林学士文集	百五冊	義経記	八冊
詩経古伝	四冊	北条五代記	十冊
鼈頭四書	十冊	朝鮮征伐記	九冊
読荀子	四冊	正字通	四十冊
度量衡考	二冊	正統說郛	二百冊
弁名	二冊	農政全書	二十四冊
弁道	壹冊	唐詩類苑	六十冊
本朝軍器考	十四冊	文獻通考	百二十冊
武林原始	七冊	諧声品字箋	五十八冊
武芸小伝	四冊	文苑英華	百冊
駿台雑話	五冊	黄氏日抄	三十二冊
聖学問答	二冊	佩文齋書画譜	六十三冊
七書直解	十四冊	三才図会	八十冊
南留別志	五冊	杜氏通典	五十冊
嚶鳴館集	三冊	大平御覽	二百冊
白石先生余稿	三冊	兪州四部稿	二百冊
六経略説	壹冊	王氏存笥稿	八冊
列朝詩集	三十二冊	廣文選	二十冊
うつほ物語	三十冊	王陽明全集	二十一冊
信長記	八冊	宗氏相集	八冊
天正軍記	八冊	方正学集	六冊
太閤記	十一冊	大函集	三十二冊

滄溟集	二十冊
王臨川集	二十四冊
論語古訓外伝	十冊
左伝註疏	二十冊
宋朝文鑑	三十冊
歐陽文忠公全集	四十冊
空洞集	十二冊
南豊全集	八冊
瀟碧堂集	四冊
池北偶談	十冊
丹鉛総録	十冊
河間府志	十四冊
廣輿記	十六冊
幸魯盛典	十六冊
趙註孟子	四冊
尚書註疏	十冊
尚書	六冊
左伝註疏	二十冊
武経開宗	七冊
三国志	三十九冊

以上

類本異処者依蔵書之前後以千字文次第也